

処理フローシート (参考)

水槽内部仕上げリスト (案)

水 槽 名	床	壁	天 井
沈砂槽	D種	D種	D種
受入槽 各貯留槽 各汚泥貯留槽 雑排水槽 硝化脱窒素槽 (気相部)	C種	D種	D種
主処理関係水槽 凝集分離関係水槽 消毒槽	B種	C種	C種
上記以外の水槽	A種	A種	A種

各室内部仕上げリスト(案) (処理棟処理部)

室名	床	巾木	壁	天井	備考
受入室 ホッパ室	無機質系塗り床(防塵、防滑)	防塵塗装	吹き付けタイル	吹き付けタイル	
ポンプ室	合成樹脂塗り床(防塵塗装)	防塵塗装	下部：吹き付けタイル 上部：CO 打放し	打放し	
前処理脱水機室 水槽上部室	合成樹脂塗り床(防塵塗装)	防塵塗装	下部：吹き付けタイル 上部：CO 打放し	打放し	
脱臭室 薬品庫	合成樹脂塗り床(防塵塗装)	防塵塗装	下部：吹き付けタイル 上部：CO 打放し	打放し	
資源化室	合成樹脂塗り床(防塵塗装) 又は 無機質系塗り床	防塵塗装	下部：吹き付けタイル 上部：CO 打放し	打放し	
ブロワ室 ファン室	合成樹脂塗り床(防塵塗装)	防塵塗装	ガラスウール ガラスクロス押さえ	ガラスウール ガラスクロス押さえ	
工作室 工具・部品格納庫 倉庫	合成樹脂塗り床(防塵塗装)	防塵塗装	下部：吹き付けタイル 上部：CO 打放し	打放し	木棚、作業台、工具 掛け等
便所(多目的・収集 業者用)	磁器タイル貼り (防水仕様)	半磁器タイル貼り	半磁器タイル貼り	化粧ケイカル板貼り	鏡 掃除道具入れ 掃除用流し
前室	合成樹脂塗り床(防塵塗装) 長尺ビニールシート貼り	防塵塗装	吹き付けタイル	化粧ケイカル板貼り	下足箱
階段	合成樹脂塗り床(防塵塗装)	防塵塗装	吹き付けタイル	化粧石膏ボード貼り 段裏：吹き付けタイル	

各室内部仕上げリスト(案) (処理棟管理部)

室名	床	巾木	壁	天井	備考
中央監視室	フリーアクセスフロア+カーペット タイル	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	プラスターボード 岩綿吸音板	机、椅子、テーブル 等
水質試験室	耐薬品製長尺床シート	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	プラスターボード 岩綿吸音板	実験台、机、椅子等
電気室	ビニル床タイル(帯 電防止)	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	プラスターボード 岩綿吸音板	
各種監視室	長尺シート	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	プラスターボード 岩綿吸音板	机、椅子等
作業員控室 (+和室)	長尺シート 和室：畳敷き	ソフト巾木 (畳寄せ)	プラスターボード クロス貼り	プラスターボード 岩綿吸音板 (杉柂目合板敷き 目板貼り)	机、椅子、テーブル 等 (押入、天袋、地袋、 床の間等)
湯沸室	モルタル金ゴテ下地の上 長尺シート	ソフト巾木	耐水プラスターボード クロス貼り (流し前・横：磁器 タイル貼り)	化粧ケイカル板貼り	流し台 電磁調理台 吊り戸棚 レンジフード 水切り棚
便所	磁器タイル貼り(防水 下地) または、 長尺シート	半磁器タイル貼り または、 ステンレス巾木	半磁器タイル貼り または、化粧ケイカル板 貼り	化粧ケイカル板貼り	鏡 掃除道具入れ 掃除用流し ブース等
倉庫	長尺床シート	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	化粧石膏ボード貼り	棚 書類棚
階段室	長尺床シート	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	化粧石膏ボード貼り	
事務室	フリーアクセスフロア+カーペ ットタイル	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	プラスターボード 岩綿吸音板	机、椅子、カウンター可動 書架、打合せテー ブル、椅子等
会議室	カーペットタイル	ソフト巾木	プラスターボード (腰：練り付合板)	プラスターボード 岩綿吸音板	机、椅子、会議テー ブル、白板等
更衣室(男、女)	長尺床シート	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	化粧石膏ボード貼り	ロッカー
便所 (男、女、身体障害 者用)	磁器タイル貼り 小便器前：石貼り	半磁器タイル貼り	半磁器タイル貼り	化粧ケイカル板貼り	大型鏡 掃除道具入れ 掃除用流し 手摺等
洗濯室 脱衣室	長尺床シート 一部フローリング	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り 一部洗濯機前：磁器 タイル貼り	化粧ケイカル板貼り	防水バン 洗濯機 乾燥機 洗面化粧台 脱衣棚
シャワー室	磁器タイル貼り (防水下地)	半磁器タイル貼り	半磁器タイル貼り	バスリブ(断熱材裏打 ち)	ユニットタイプ 混合栓、シャワ ー耐蝕鏡
倉庫 書庫	長尺床シート	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	化粧石膏ボード貼り	棚 書類棚
玄関 風除室	石貼り	—	タイル貼り	アルミパントレル	
玄関ホール 廊下	石貼り 長尺床シート	ソフト巾木	プラスターボード クロス貼り	プラスターボード 岩綿吸音板	下足箱(30人程度)

建築機械設備リスト(案) (処理棟処理部)

室名	空調		換気			給湯		厨房	衛生	備考
	暖房	冷房	回数 m ³ /m ³ h	容量	種別	負荷	器具	器具	器具(手洗)	
受入室					1					脱臭
前処理・脱水機室					1		○		○	
処理槽上部室					1		○		○	
ポンプ室					1		○		○	
資源化室					1		○		○	脱臭
脱臭室					1					
薬品庫					1					
工作室					3		○		○	
工具・部品格納庫					3					
ホッパ室					1				○(水栓)	
ブロワ室					1					
ファン室					1				—	
倉庫					3				—	
便所					3				—	
前室					1, 2					
階段室					1, 3					

※各室設備仕様は本村と協議の上設定すること。

建築機械設備リスト(案) (処理棟管理部)

室名	空調		換気			給湯		厨房	衛生	備考
	暖房	冷房	回数 m ³ /m ³ h	容量	種別	負荷	器具	器具	器具(手洗)	
中央監視室	○	○			1					
水質試験室	○	○			1		○		○	流し台
電気室					1					
各種監視室	○	○			1					
作業員控室	○	○			1		○		○	
洗濯室	○	○			3		○		○	
脱衣室	○	○			3		○		○	
浴室					3		○		○	
更衣室	○	○			3					
湯沸室					3		○		○	流し台
便所					3					
倉庫					3					
書庫					3					
階段					2					
玄関										
玄関ホール	○	○			1					
廊下										
事務室	○	○			1					
会議室	○	○			3					

※各室設備仕様は本村と協議の上設定すること。

建築機械設備リスト(案) (処理棟処理部)

室名	照明		電話	テレビ	放送	コンセント	時計	備考
	単位負荷	器具	器具	設備	器具	器具	器具	
受入室	200 lx				○	○		
前処理・脱水機室	200 lx		○		○	○	○	
処理槽上部室	200 lx		○		○	○	○	
ポンプ室	200 lx		○		○	○	○	
資源化室	200 lx		○		○	○	○	
脱臭室 薬品庫	200 lx					○		
工作室 工具・部品格納庫	300 lx 200 lx		○		○	○	○	
ホッパ室	200 lx					○		
ブロワ室	200 lx					○		
ファン室	200 lx					○		
倉庫	150 lx					○		
階段	200 lx					○		

※各室設備仕様は本村と協議の上設定すること。

建築機械設備リスト(案) (処理棟管理部)

室名	照明		電話	テレビ	放送	コンセント	時計	備考
	単位負荷	器具	器具	設備	器具	器具	器具	
受入監視室	500 lx		○		○	○	○	
中央監視室	600 lx		○		○	○	○	下面開放レバー
水質試験室	550 lx		○		○	○	○	
電気室	300 lx					○		
各種監視室	500 lx		○		○	○	○	下面開放レバー
施設管理室 作業員控室	500 lx		○	○	○	○	○	
洗濯室 脱衣室	150 lx					○		
浴室	150 lx							
更衣室	150 lx					○		
湯沸室	200 lx					○		
便所	150 lx					○		
書庫	150 lx							
倉庫	100 lx					○		
階段	150 lx					○		
玄関・玄関ホール	200 lx				○	○	○	
廊下	150 lx					○		
事務室	500 lx		○	○		○	○	床コンセント、 壁付コンセント
会議室	500 lx		○	○	○	○	○	主放流設備

※各室設備仕様は本村と協議の上設定すること。

計装機器一覧表 (案)

受入貯留設備

名 称	形 式	現 場			中					央				備 考		
		現場		制御盤	監視 (ディスプレイ)					データ処理						
		指 示		指 示	制 御	警 報	指 示	ト レ ン ド	積 算	制 御	記 録	警 報	日 報		月 報	年 報
し尿受入槽液位				○	○	○	○	○	○	○	○					○
浄化槽汚泥受入槽液位				○	○	○	○	○	○	○	○					○
し尿貯留槽液位				○	○	○	○	○	○	○	○					○
浄化槽汚泥貯留槽液位				○	○	○	○	○	○	○	○					○
投入量 (し尿・浄化槽汚泥)		○		○	○		○	○	○	○		○	○	○	○	○
移送量 (し尿・浄化槽汚泥)		○		○			○	○	○	○		○	○	○		
脱水し査ホップレベル											○					○
細目スクリーン液位					○	○					○					○
搬入量		○		○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○
アルカリ洗浄装置液位					○	○					○					○
温水洗浄タンク液位					○	○					○					○
沈砂除去装置					○	○					○					○

生物学的脱窒素処理設備

名 称	形 式	現 場			中					央				備 考		
		現場		制御盤	監視 (ディスプレイ)					データ処理						
		指 示		指 示	制 御	警 報	指 示	ト レ ン ド	積 算	制 御	記 録	警 報	日 報		月 報	年 報
反応槽DO		○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
反応槽ORP		○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
反応槽pH		○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
反応槽温度		○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
反応槽MLSS		○		○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
反応槽泡検知					○	○					○					○
反応槽曝気風量		○				○	○		○			○	○	○		
循環液量		○		○	○		○	○	○	○		○	○	○		
返送汚泥流量		○		○	○		○	○	○	○		○	○	○		
余剰汚泥流量		○		○	○		○	○	○	○		○	○	○		
膜処理水流量		○		○	○		○	○	○	○		○	○	○		
処理水移送量		○		○	○		○	○	○	○						
処理水槽液位					○	○					○					○
膜装置圧力					○		○	○			○	○				○

計装機器一覧表 (案)

生物学的窒素処理設備

名称	形式	現場				中					央				備考
		現場		制御盤		監視 (ディスプレイ)					データ処理				
		指		指	制	警	指	ト	積	制	記	警	日	月	
示		示	御	報	示	レン	算	御	録	報	報	報	報	報	
アルカリ貯留槽液位		○		○	○						○				○
消泡剤貯留槽液位		○		○	○						○				○
冷却水流量		○													
メタノールサービスタック液位				○	○						○				○
原水槽液位				○		○			○		○				○
洗浄水槽液位				○		○					○				○

堆肥化設備

名称	形式	現場				中					央				備考
		現場		制御盤		監視 (ディスプレイ)					データ処理				
		指		指	制	警	指	ト	積	制	記	警	日	月	
示		示	御	報	示	レン	算	御	録	報	報	報	報	報	
汚泥貯留槽液位				○		○	○		○		○				○
汚泥供給量		○		○	○		○	○		○	○	○	○	○	
脱水汚泥ホップレベル				○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
分離液貯留槽液位				○		○	○			○					○
分離液移送量		○		○	○		○	○	○		○	○	○		
有機系脱水助剤注入量		○													
無機系脱水助剤注入量		○													
有機系脱水助剤溶解貯留液位				○	○						○				○
無機系脱水助剤貯留液位				○	○						○				○
堆肥化装置レベル				○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	
堆肥化装置温度				○	○	○	○			○	○	○	○	○	

計 装 一 覧 表 (案)

取排水設備

名 称	形 式	現 場			中					央				備 考		
		現場		制御盤	監視 (ディスプレイ)					データ処理						
		指 示		指 示	制 御	警 報	指 示	ト レ ン ド	積 算	制 御	記 録	警 報	日 報		月 報	年 報
床排水ピット液位		○				○						○				○
雨水貯留槽液位		○				○						○				○
受水槽液位 (プラント用水)				○		○			○			○				○
プラント用水使用量		○											○	○	○	
生活用水使用量		○											○	○	○	
雑排水槽液位				○		○	○					○				○
雑排水移送流量		○		○			○	○					○	○	○	

脱臭設備

名 称	形 式	現 場			中					央				備 考		
		現場		制御盤	監視 (ディスプレイ)					データ処理						
		指 示		指 示	制 御	警 報	指 示	ト レ ン ド	積 算	制 御	記 録	警 報	日 報		月 報	年 報
酸貯留液位		○				○	○					○				○
次亜塩素酸ナトリウム貯留		○				○	○					○				○
高濃度臭気循環槽液位		○				○	○									○
中濃度臭気循環槽液位		○				○	○									○
脱臭風量 (高濃度)		○														
脱臭風量 (中濃度)		○														
脱臭風量 (低濃度)		○														
補給水量		○														
高濃度臭気脱臭塔循環量		○														
中濃度臭気脱臭塔循環量		○														
酸洗浄塔 pH		○														○
アルカリ洗浄塔 pH		○														○
アルカリ洗浄塔残塩計		○														○

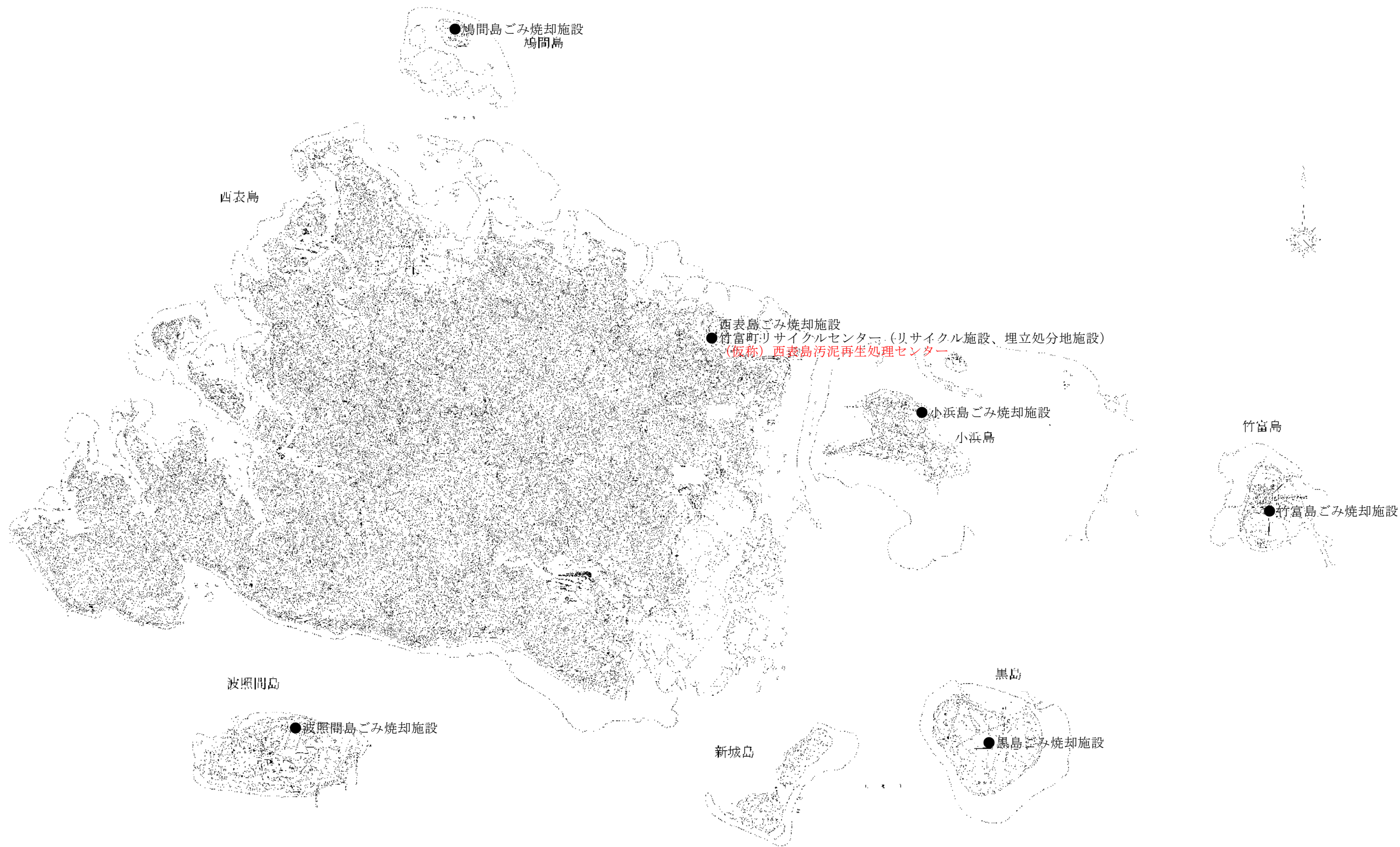
計 装 一 覧 表 (案)

受変電設備

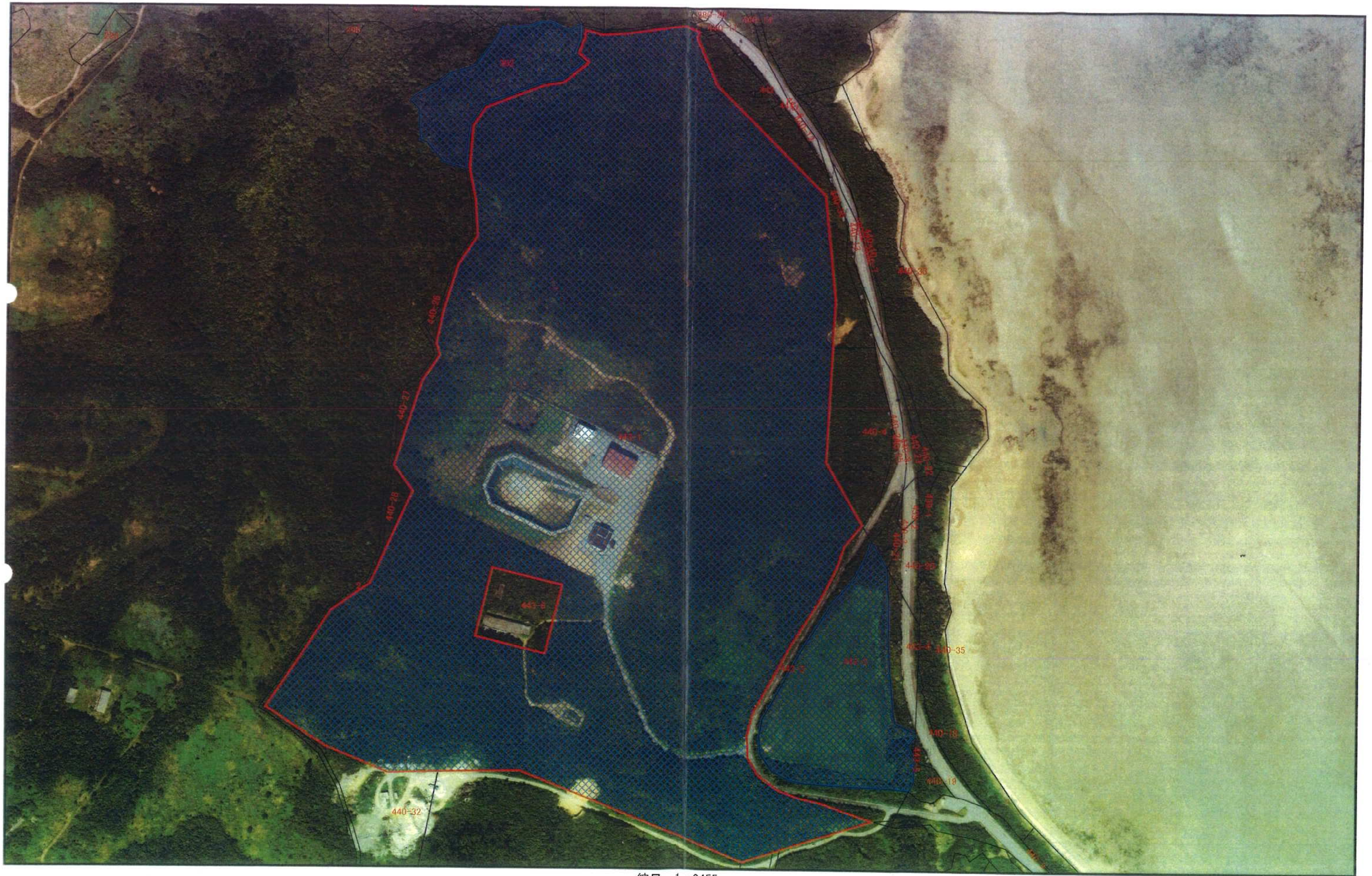
名 称	形 式	現 場			中 央											備 考			
		現場		制御盤	中央監視盤			監視 (ディスプレイ)				データ処理							
		指 示		指 示	制 御	警 報	指 示	記 録	警 報	指 示	ト レ ンド	積 算	制 御	記 録	警 報		日 報	月 報	年 報
受電電力量				○			○					○		○	○	○	○	○	○
受電電圧				○			○							○	○	○	○	○	○
受電電流				○			○							○	○	○	○	○	○
各変圧器電圧				○			○							○	○	○	○	○	○
各変圧器電流				○			○							○	○	○	○	○	○
力率				○			○							○	○	○	○	○	○
各分岐漏電警報				○		○			○					○	○				○
機器稼働時間				○			○							○					○
電力デマンド監視									○	○				○	○	○	○	○	○
主要機器稼働状況				○			○							○					○

(仮称) 西表島汚泥再生処理センター位置図

S=1:70,000

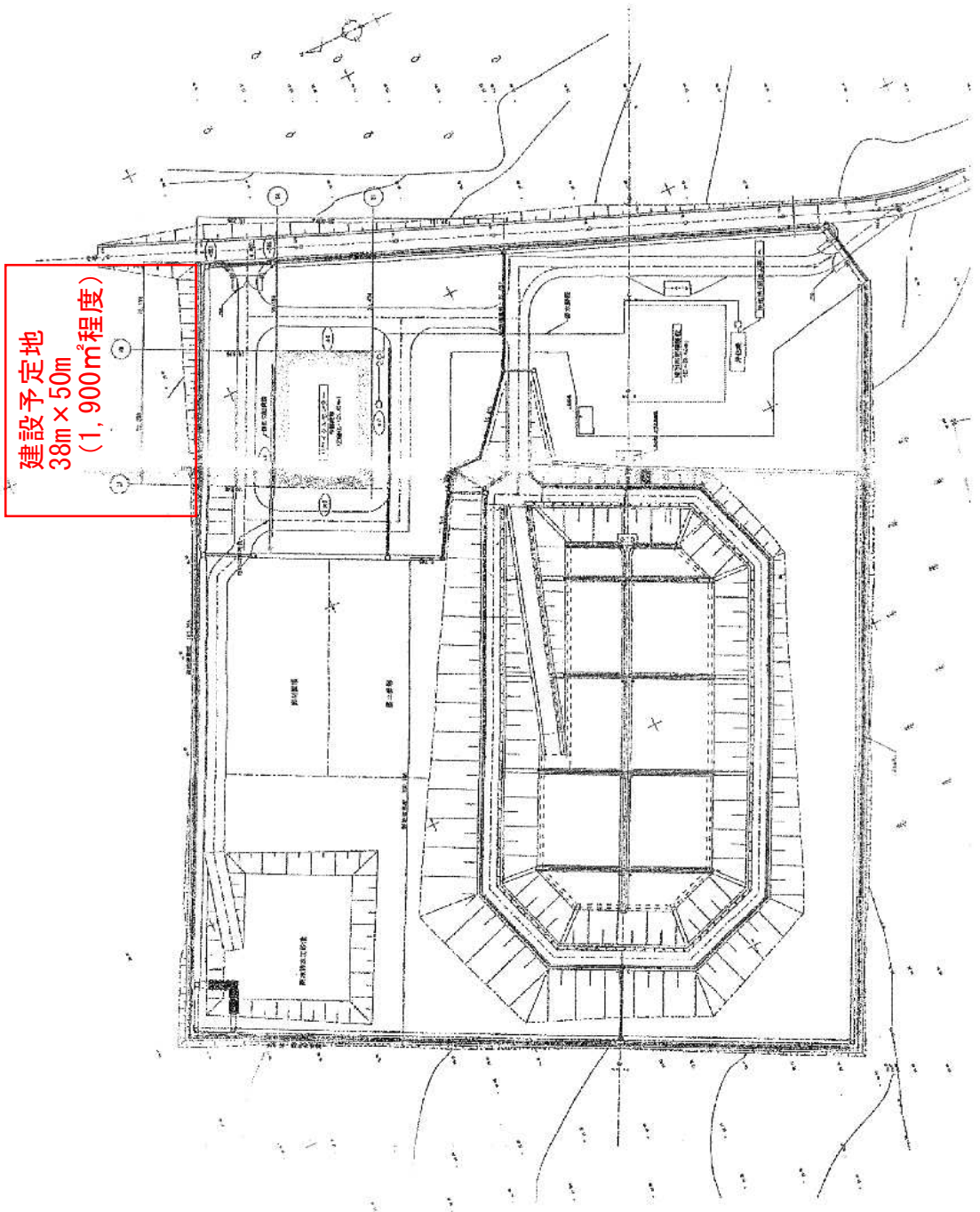


竹富町地籍併合図・航空写真



縮尺 1 : 3455
100 50 0 100

この図面は参考図であり、権利関係の確認には使用できません
いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一資料-12
製し、利用することを固く禁じます。



建設予定地
38m x 50m
(1,900m²程度)

現況測量図

S: 1/250 (A-1)
1/500 (A-3)



X=180025
Y=8725

X=180025
Y=8600

X=180125
Y=8725

X=180125
Y=8600

基準点座標リスト			
点名	X	Y	標高
T-1-4	-180133.737	-8704.503	
R1-401	-180116.350	-8630.345	26.059
R1-402	-180086.620	-8682.012	25.866
R1-402-1	-180098.592	-8645.610	25.898



T-1-4

平面図

S: 1/250 (A-1)
1/500 (A-3)



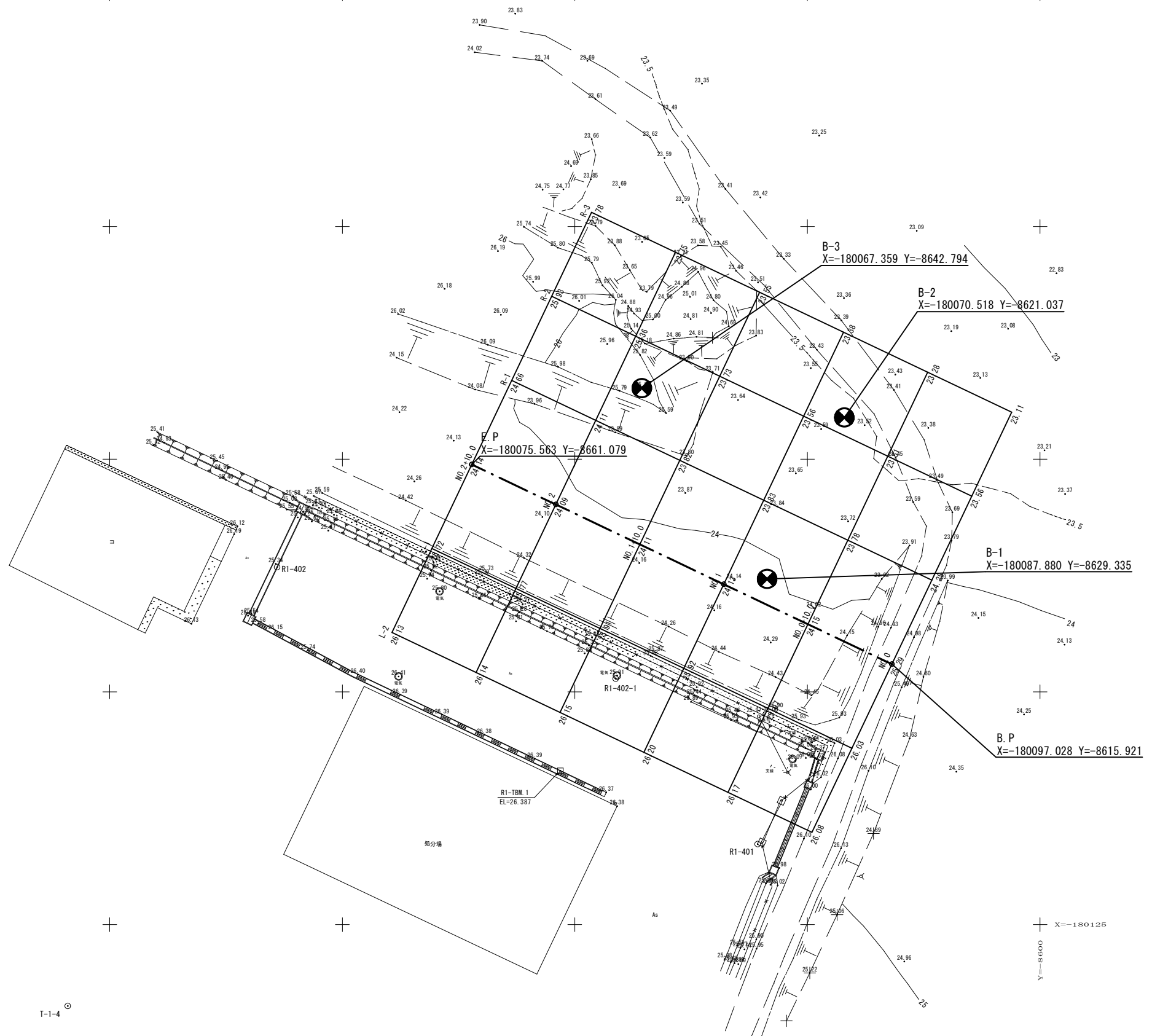
X=-180025
Y=-8725

Y=-8600
X=-180025

X=-180125
Y=-8725

X=-180125
Y=-8600

T-1-4



基準点座標リスト			
点名	X	Y	標高
T-1-4	-180133.737	-8704.503	
R1-401	-180116.350	-8630.345	26.059
R1-402	-180086.620	-8682.012	25.866
R1-402-1	-180098.592	-8645.610	25.898

線形座標リスト		
点名	X	Y
NO.0	-180097.028	-8615.921
NO.0+10.00	-180092.735	-8624.953
NO.1	-180088.442	-8633.984
NO.1+10.00	-180084.149	-8643.016
NO.2	-180079.856	-8652.047
EP	-180075.563	-8661.079

B-3
X=-180067.359 Y=-8642.794

B-2
X=-180070.518 Y=-8621.037

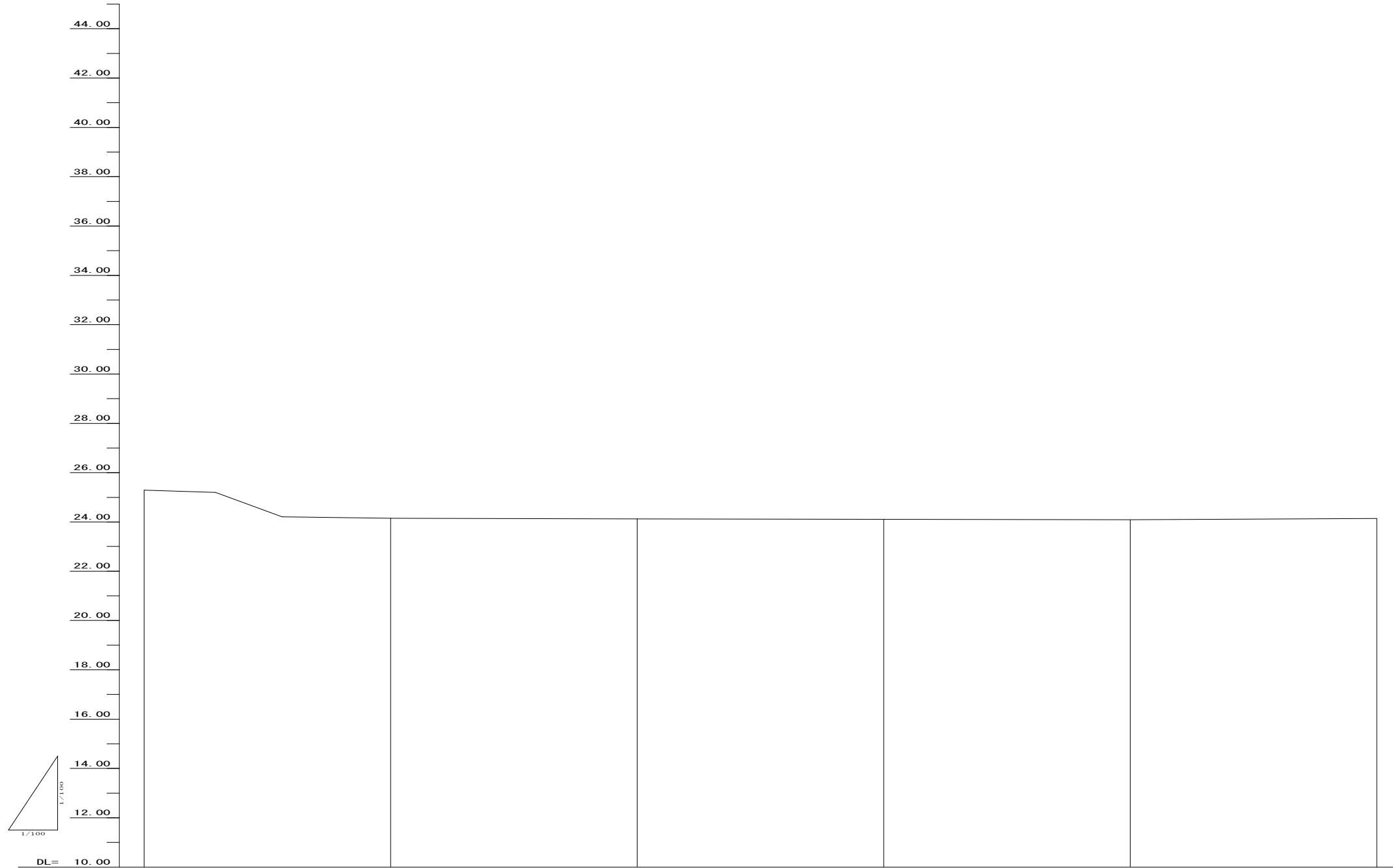
E.P
X=-180075.563 Y=-8661.079

B-1
X=-180087.880 Y=-8629.335

B.P
X=-180097.028 Y=-8615.921

縦断図 1

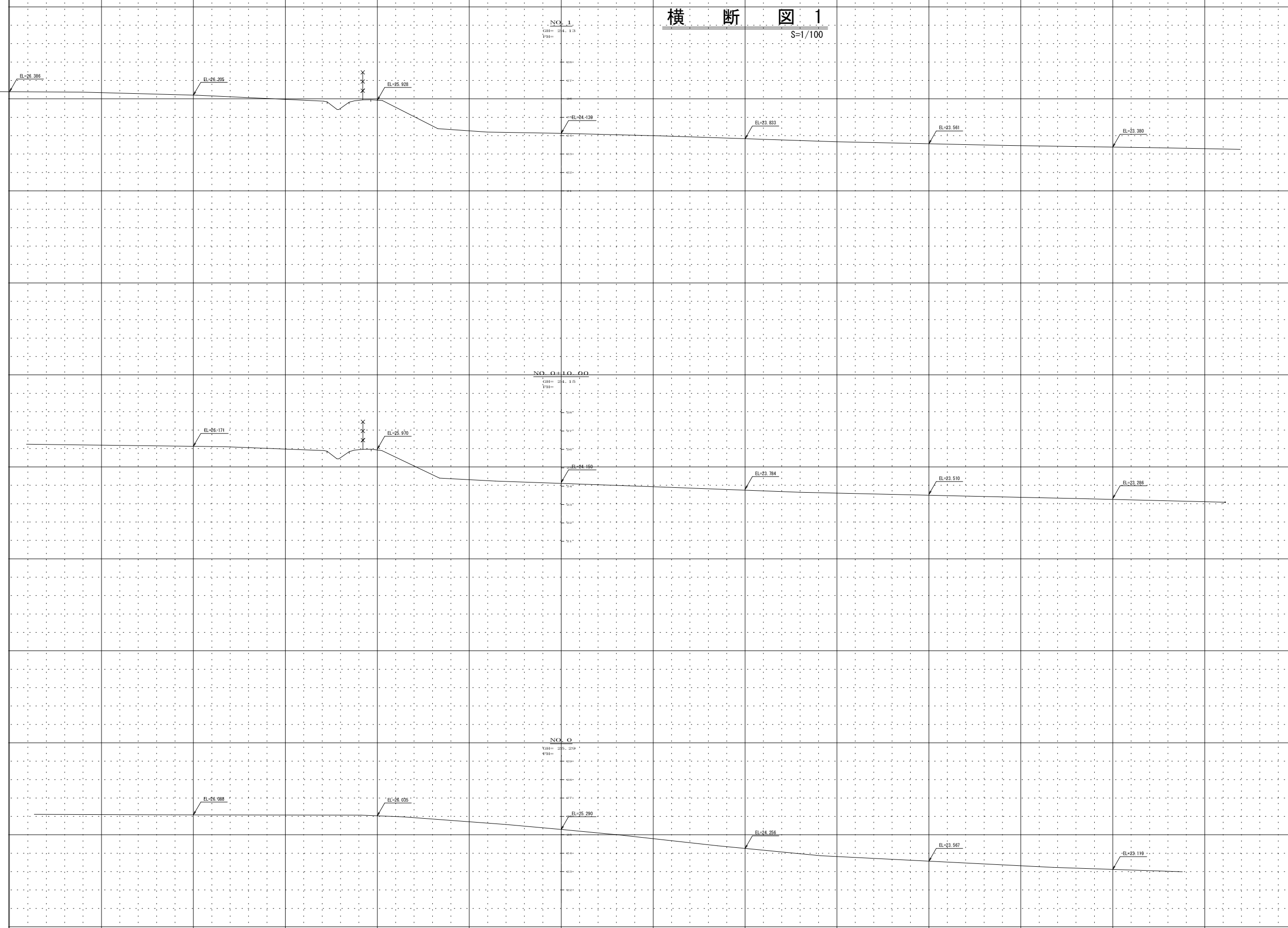
V = 1 / 100
H = 1 / 100



勾配図						
盛土						
切土						
計面高						
地盤高	25.20	24.15	24.10	24.11	24.00	24.14
追加距離	0.0000	10.0000	20.0000	30.0000	40.0000	50.0000
単距離	0.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000	10.0000
測点	NO. 0	+10.00	NO. 1	+10.00	NO. 2	EP
曲率図	1:100.000					

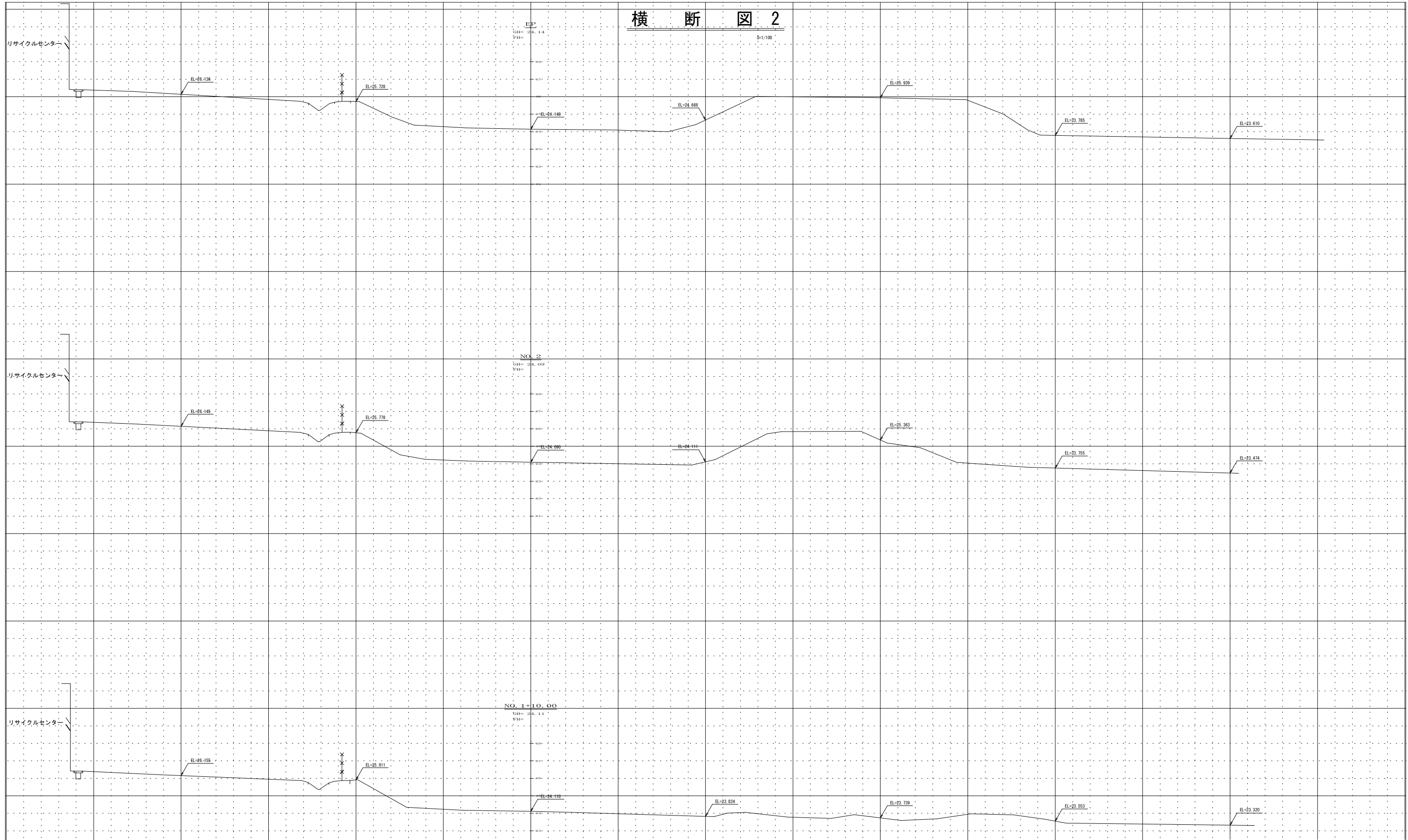
横断 図 1

S=1/100



図面名称			
縮尺	図示	図面番号	-
測量			
設計			
発注元			

横断図 2



リサイクルセンター

リサイクルセンター

リサイクルセンター

図面名称			
縮尺	図示	図面番号	-
測量			
設計			
発注元			

ボーリング柱状図

調査名 汚泥処理センター計画支援委託業務

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

シートNo		竹富町西表島内		北緯 24° 22' 26.8159"	
ボーリング名	B-1	調査位置	竹富町西表島内		
発注機関	竹富町役場 町民課	調査期間	令和 1年 10月 24日 ~ 1年 10月 25日		
調査業者名	沖縄県土地改良事業団体連合会 電話 (0980-82-6070)	現場代理人	桑江 淳	アコ鑑定者	森 翼
孔口標高	EL= 24.01m	現代試験機	YBM-05DA	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	10.00m	エンジン	NFAD-8K	ポンプ	GP-5
方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°		
角	上 180° 下 0°	使用機種			

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	色調	相對稠度	相對密度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験			原位置試験 深度 (m)	試料採取		掘進 月 日
										10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深度 (m)		試験名 および結果	試験番号	
1	3.00	21.01		礫混じり粘土	淡褐 ~ 褐			全体に砂岩礫を混入する粘土。礫はφ2~10mm程度。僅かだが石灰岩礫の混入も認められる。含水比低位。		5	5					
2	3.00	21.01		粘土質砂礫	褐 ~ 灰			基盤強風化の砂礫層。全体に砂岩風化の粘土質砂礫となり、砂は非石灰質の細~中砂。礫は砂岩礫主体でφ2~40mm程度で構成される。		3	3					
3	3.80	17.21		砂岩	淡灰			八重山層群西表層。全体に棒状コアで採取。弱風化を呈し、亀裂があり亀裂沿いは粘土化する箇所も認められる。岩質は概ね硬い。		10	10					
4	3.20	14.01		砂岩	淡灰					貫入不能	50	50				
5	3.20	14.01		砂岩	淡灰					貫入不能	50	50				
6	3.20	14.01		砂岩	淡灰					貫入不能	50	50				
7	3.20	14.01		砂岩	淡灰					貫入不能	50	50				
8	3.20	14.01		砂岩	淡灰					貫入不能	50	50				
9	3.20	14.01		砂岩	淡灰					貫入不能	50	50				
10	3.20	14.01		砂岩	淡灰					貫入不能	50	50				




ボーリング柱状図

調査名 汚泥処理センター計画支援委託業務

ボーリングNo											
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名

ボーリング名		B-2		調査位置		竹富町西表島内						シートNo	
発注機関	竹富町役場 町民課			調査期間	令和1年10月29日～1年10月30日			北緯	24° 22'	27.3804"	東経	123° 54'	54.0641"
調査業者名	沖縄県土地改良事業団体連合会 電話 (0980-82-6070)			現場代理人	桑江 淳			ア コ 鑑 定 者	森 翼		ボーリング責任者 森 翼		
孔口標高	EL=	23.41m	角	180°	上	90°	下	0°	方	北	0°	東	180°
総掘進長	7.00m	度	270°	西	90°	東	180°	南	地盤勾配	水平0°		ハンマー落下装置	
									使用機種	YBM-05DA		ポンプ	
									エンジン	NFAD-8K		GP-5	

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対稠度	相対密度	記事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験結果		室内試験 ()	掘進月日	
									深度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	試験名および結果		試験料採取 採取方法				
21.91	1.50		礫混じり粘土	褐			全体に砂岩礫を混入する粘土。礫はφ2~10mm程度。僅かだが石灰岩礫の混入も認められる。含水比低位。		1.15	3	5	13 / 30						
20.11	1.80		粘土混じり砂礫	褐 / 灰			基盤強風化の砂礫層。全体に砂岩風化の粘土混じり砂礫となり、砂は非石灰質の細~中砂。礫は砂岩礫主体でφ2~40mm程度で構成される。岩構造は若干認められる。		1.45	15	15	50 / 25						
16.41	3.70		砂岩	淡灰			八重山層群西表層。全体に棒状コアで採取。弱風化を呈し、亀裂があり亀裂沿いは粘土化する箇所も認められる。岩質は概ね硬い。		2.25	21	29	50 / 15						
									3.30			貫入不能						
									4.00			貫入不能						
									5.00			貫入不能						
									5.00			貫入不能						
									6.00			貫入不能						
									6.00			貫入不能						
									7.00			貫入不能						

ボーリング柱状図

調査名 汚泥処理センター計画支援委託業務

ボーリングNo									
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

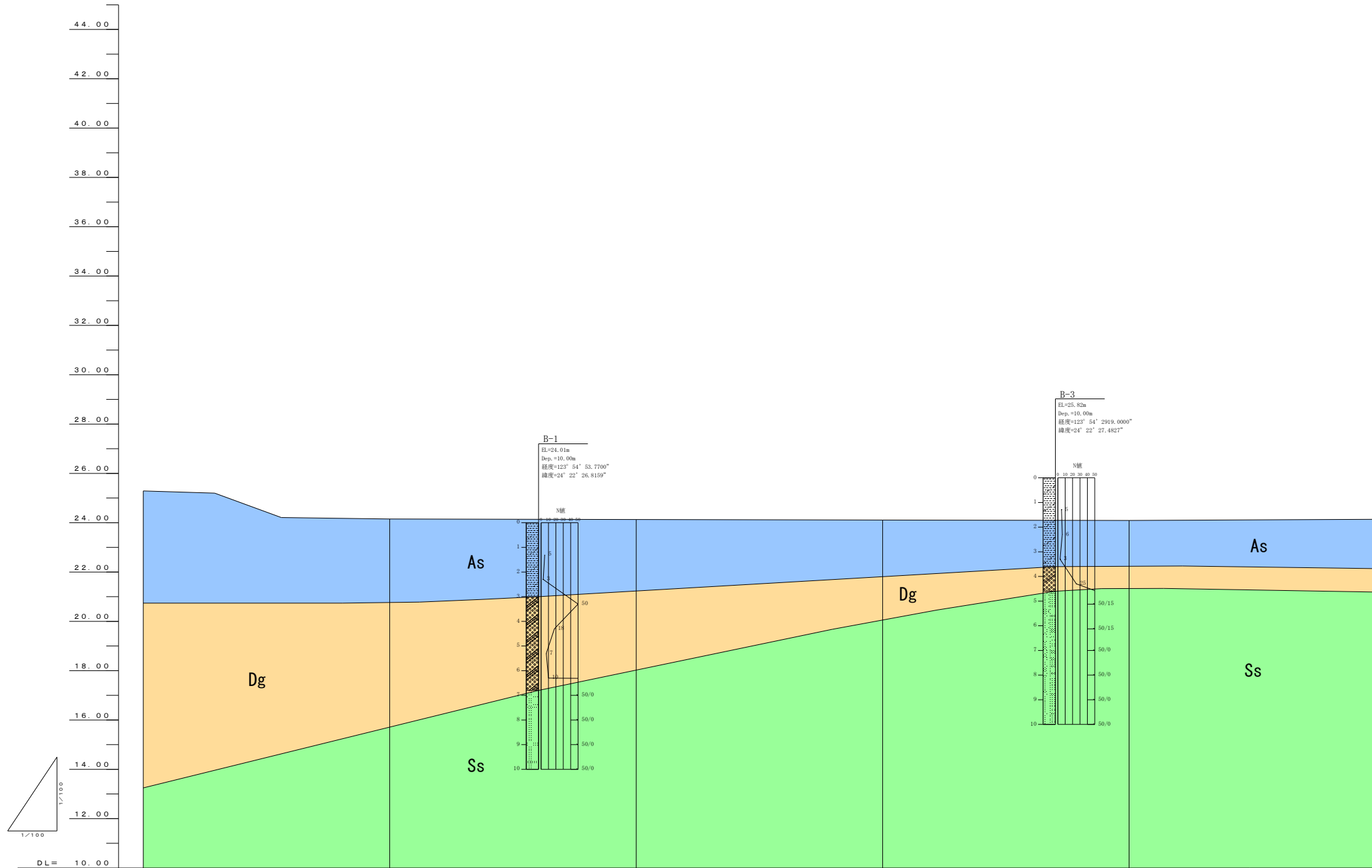
事業・工事名

ボーリング名		B-3		調査位置		竹富町西表島内				シートNo		
発注機関	竹富町役場 町民課			調査期間	令和1年10月30日～1年10月31日			北緯	24° 22' 27.4827"		東経	123° 54' 29.19"
調査業者名	沖縄県土地改良事業団体連合会 電話(0980-82-6070)			現場代理人	桑江 淳			ア コ 鑑 定 者	森 翼		ボーリング責任者	森 翼
孔口標高	EL=25.82m		方位	北0° 270°西 90°東 180°南		地盤勾配	水平0° 鉛直90°		ハンマー 落下用具	半自動落下装置		
総掘進長	10.00m		角度	上180° 下0°		使用機種	エンジン		NFAD-8K	GP-5		

標尺 (m)	層厚 (m)	標高 (m)	柱状図	土質区分	相対稠度	相対密度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験			原位置試験		試験採取		掘進月日	
									深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	深 度 (m)	試験名 および結果	試験番号	採取方法		
1			礫混じり粘土	褐			全体に砂岩礫を混入する粘土。礫はφ9~10mm程度。僅かだが石灰岩礫の混入も認められる。含水比低位。		1.15	2	5 / 30	5					
2			粘土混じり砂	褐			基礎強風化の砂礫層。全体に砂岩風化の粘土混じり砂礫となり、砂は非石灰質の細中砂。礫は砂岩礫主体でφ9~40mm程度で構成される。岩構造は若干認められる。		1.45	2	6 / 30	6					
3	3.60	22.22							2.15	1	3 / 30	3					
4	1.00	21.22							3.15	7	7 / 11	25					
5									3.45	32	18 / 5	50					
6									4.15	30	20 / 5	15					
7									4.45	50	15 / 0	50					
8									5.05	50	0 / 0	50					
9									5.20	30	20 / 5	100					
10									6.05	50	15 / 0	50					
11									6.20	50	0 / 0	50					
12									7.00	50	0 / 0	50					
13									7.00	50	0 / 0	50					
14									8.00	50	0 / 0	50					
15									8.00	50	0 / 0	50					
16									9.00	50	0 / 0	50					
17									9.00	50	0 / 0	50					
18									10.00	50	0 / 0	50					

推定土層縦断面図

V = 1 / 100
H = 1 / 100

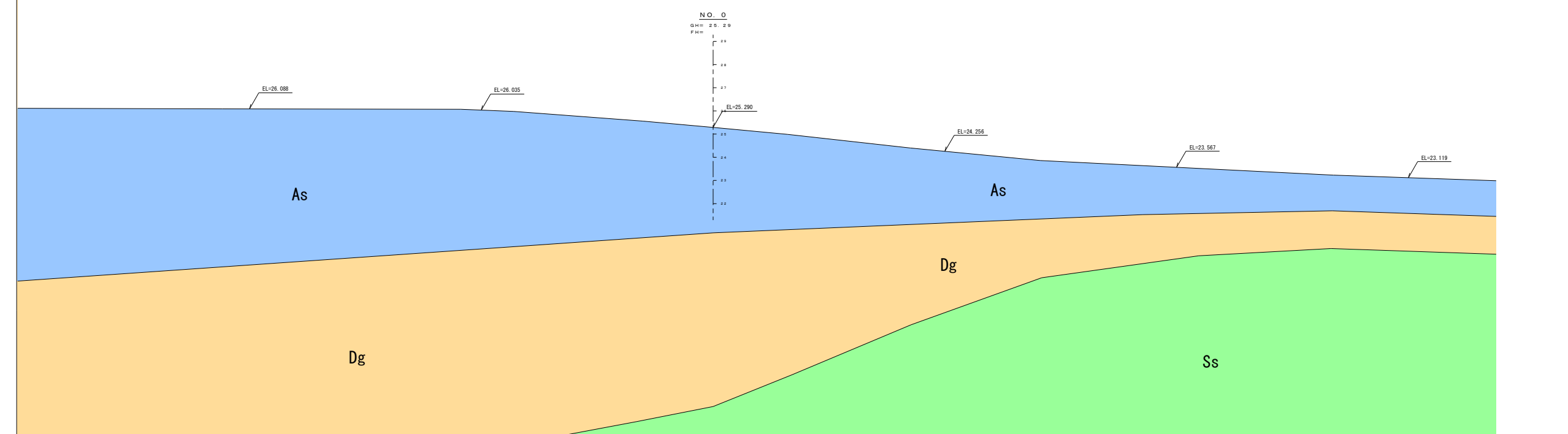
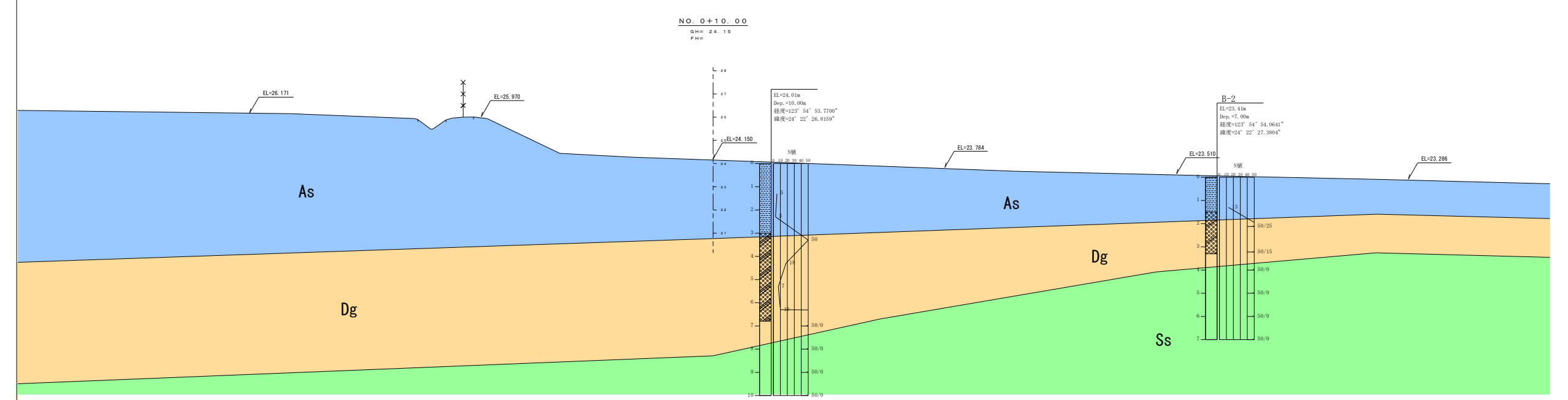
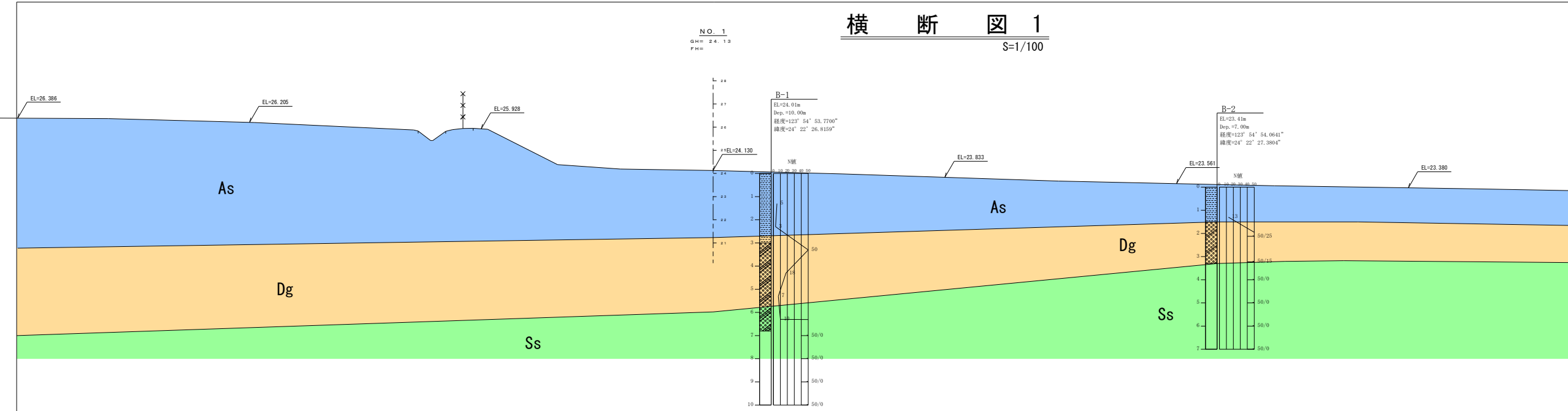


	地質名	土質名	記号
完新世	沖積層	礫混じり粘土	As
中新世	西表層 (B層)	粘土質砂礫・粘土質礫	Dg
		砂岩	Ss

勾配図						
盛土						
切土						
計面高						
地盤高	24.28	24.15	24.13	24.11	24.09	24.14
追加距離	0.000	10.000	20.000	30.000	40.000	50.000
単距離	0.000	10.000	10.000	10.000	10.000	10.000
測点	NC.0	+10.00	NC.1	+10.00	NC.2	EP
曲率図						

横断図 1

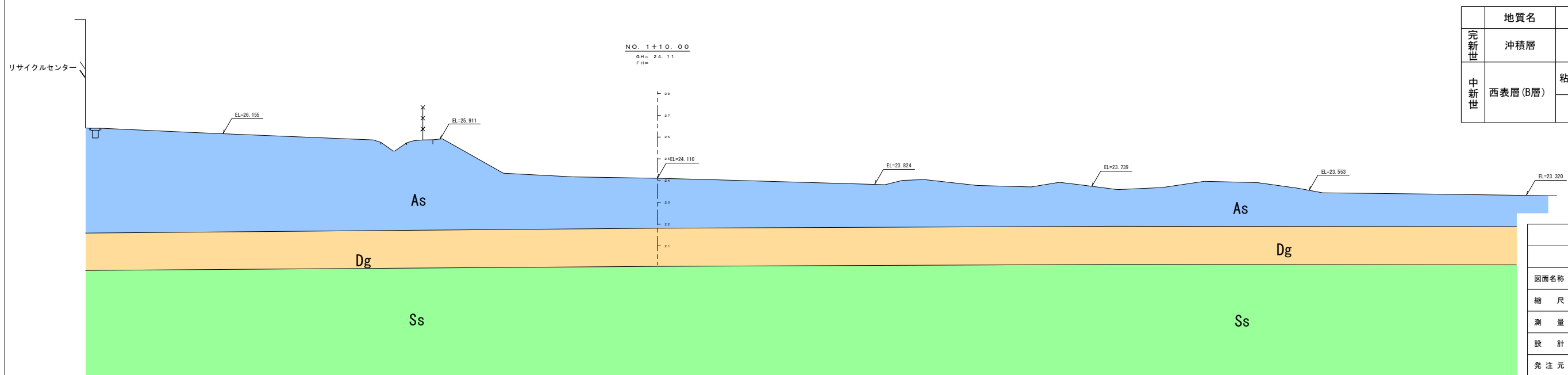
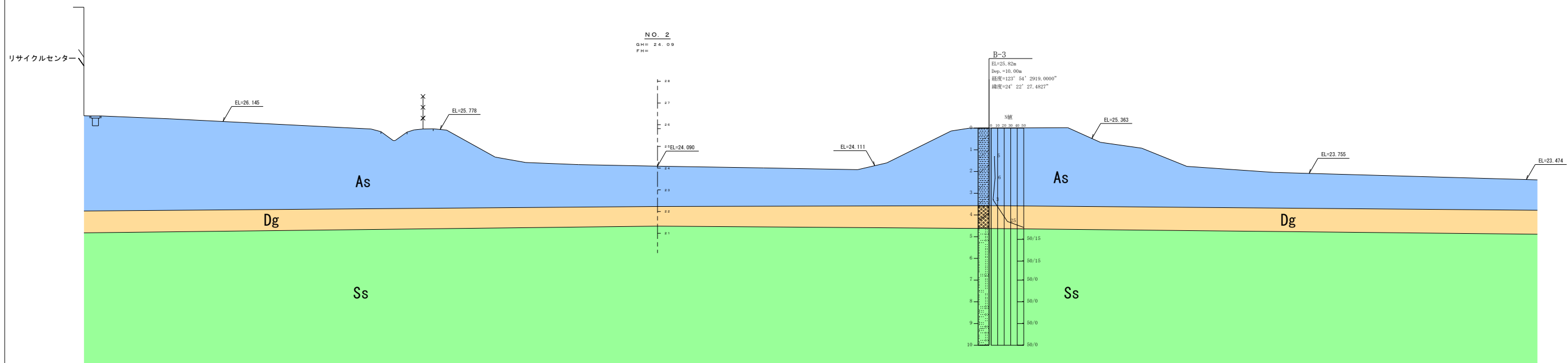
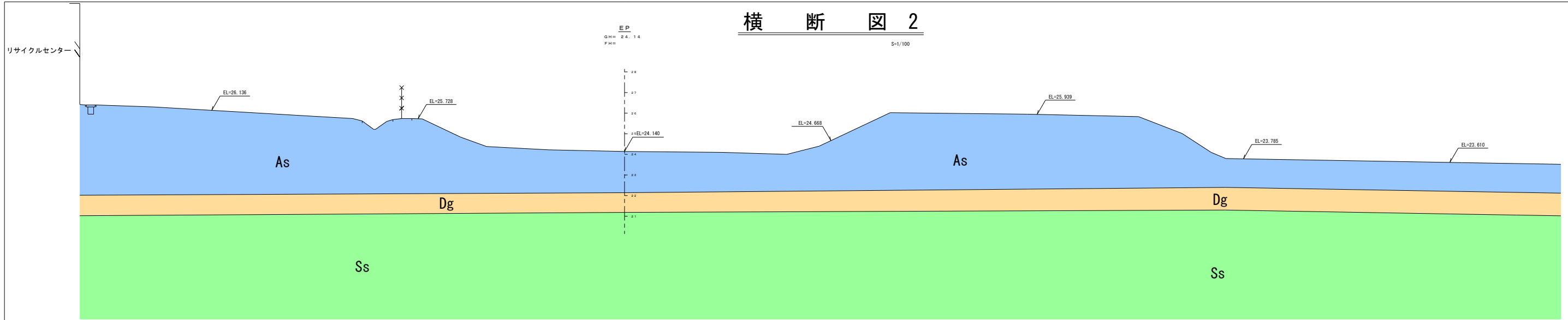
S=1/100



	地質名	土質名	記号
完新世	沖積層	礫混じり粘土	As
中新世	西表層(B層)	粘土質砂礫・粘土質礫	Dg
		砂岩	Ss

図面名称			
縮尺	図示	図面番号	-
測量			
設計			
発注元			

横断図 2



	地質名	土質名	記号
完新世	沖積層	礫混じり粘土	As
中新世	西表層 (B層)	粘土質砂礫・粘土質礫	Dg
		砂岩	Ss

図面名称			
縮尺	図示	図面番号	-
測量			
設計			
発注元			



第 5 章 環境影響の総合評価

本事業の実施による環境への影響について調査、予測及び影響の分析を行った結果を表 5-1-1 に示す。全ての項目において、環境保全対策を適切に実施することにより、環境への影響は回避又は低減され、環境保全目標との整合性は図られるものと評価した。

表 5-1-1 調査、予測及び影響の分析結果等の概要

項目	騒音	振動	悪臭	水質
要因	・施設の稼働	・施設の稼働	・施設からの悪臭の漏洩 ・臭突からの排気の排出	・施設からの処理水の放流
調査結果	<p>■調査項目</p> <p>・環境騒音</p> <p>■調査結果</p> <p>・5 地点ともに環境基準及び規制基準を満足していた。</p>	<p>■調査項目</p> <p>・環境振動</p> <p>■調査結果</p> <p>・5 地点ともに規制基準を満足していた。</p>	<p>■調査項目</p> <p>・特定悪臭物質</p> <p>・臭気指数</p> <p>■調査結果</p> <p>・全ての項目が規制基準を満足していた。</p>	<p>■調査項目</p> <p>・生活環境項目</p> <p>・流量</p> <p>■調査結果</p> <p>・全ての項目が環境基準(河川 E 類型)を満足していた。</p>
予測結果	<p>■予測項目</p> <p>・施設稼働騒音</p> <p>■予測結果</p> <p>・例 1 が朝 41dB、昼間 43dB、夕 41dB、夜間 42dB と予測された。</p> <p>・例 2 が朝 41dB、昼間 43dB、夕 41dB、夜間 42dB と予測された。</p>	<p>■予測項目</p> <p>・施設稼働振動</p> <p>■予測結果</p> <p>・例 1 が昼間 53dB、夜間 53dB と予測された。</p> <p>・例 2 が昼間 56dB、夜間 56dB と予測された。</p>	<p>■予測項目</p> <p>・施設からの悪臭の漏洩</p> <p>・臭突からの排気の排出</p> <p>■予測結果</p> <p>・施設からの悪臭の漏洩による影響は小さいものと予測された。</p> <p>・臭突からの排気の排出による影響は小さいものと予測された。</p>	<p>■予測項目</p> <p>・施設からの書留守居の放流</p> <p>■予測結果</p> <p>・BOD が 3.0mg/L、COD が 5.4mg/L、SS が 3.9mg/L と予測された。</p>
環境保全目標	・騒音規制法の第 4 種区域の昼間 65dB、朝・夕 60dB、夜間 55dB 以下	・振動規制法の第 2 種区域の昼間 65dB、夜間 60dB 以下	・臭気指数 18 以下 (B 区域) ・臭気濃度 B 区域規制基準以下	・放流先河川の水質に著しい影響を与えないこと
環境保全対策	<p>・騒音を発生する機器は、原則として建屋内に設置する。</p> <p>・騒音発生機器を設置する室内には壁に吸音材を設置、機器を防音ボックス内への収納等を検討する。</p> <p>・機器の定期点検を行い、異常音の発生防止に務める。</p> <p>・運搬車両の出入り時以外は、受け入れ室のシャッターを閉じるように努める。</p>	<p>・振動を発生する機器は、防振ゴムや防振ダクト、フレキシブルジョイントによる支持を行い、振動の低減に努める。</p> <p>・振動を発生する機器は、原則として建屋内に設置する。</p> <p>・機器の定期点検を行い、異常振動の発生防止に務める。</p>	<p>・施設構造の密閉化を行い、臭気の漏洩等を防止する。</p> <p>・悪臭を発生する機器は、原則として建屋内に設置する。</p> <p>・臭突から排出される排気の臭気指数及び臭気濃度は環境保全目標値以下とする。</p>	<p>・法令等の規制基準値よりも厳しい自己管理値を設定する。</p> <p>・適正な水処理を行い、排水基準を遵守するとともに、管理の適正化等の水質汚濁防止対策を実施する。</p>
影響分析結果	<p>■影響の低減または回避に係る分析</p> <p>・環境保全対策を実施することから、施設稼働騒音の影響は実行可能な範囲で低減されるものと評価する。</p> <p>■環境保全目標との整合性に係る分析</p> <p>・環境保全目標との整合性は図られているものと評価する。</p>	<p>■影響の低減または回避に係る分析</p> <p>・環境保全対策を実施することから、施設稼働振動の影響は実行可能な範囲で低減されるものと評価する。</p> <p>■環境保全目標との整合性に係る分析</p> <p>・環境保全目標との整合性は図られているものと評価する。</p>	<p>■影響の低減または回避に係る分析</p> <p>・環境保全対策を実施することから、施設からの悪臭の漏洩及び臭突からの排気の排出の影響は実行可能な範囲で低減されるものと評価する。</p> <p>■環境保全目標との整合性に係る分析</p> <p>・環境保全目標との整合性は図られているものと評価する。</p>	<p>■影響の低減または回避に係る分析</p> <p>・環境保全対策を実施することから、施設からの処理水の放流の影響は実行可能な範囲で低減されるものと評価する。</p> <p>■環境保全目標との整合性に係る分析</p> <p>・放流河川の水質に著しい影響は与えないものと考えられることから、環境保全目標との整合性は図られるものと評価する。</p>

凡例

	バキューム車動線
	搬出車両動線

